

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__語学	研修区分	語学	レベル	1
-------------	--------------	-------------	----	------------	---

研修科目名	英語・初級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	通年	期間(時間)	—	
日程	—	時間帯	—	場所	—	担当部局	国際連携推進課
担当講師	—			形態	自学自習		

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法
大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を目指す。また、自学自習への動機付けを図りながら、段階的に英語運用能力を強化する。
■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」
海外出張先でも、道を尋ねる際に相手にゆっくりと話してもらうことで、目的地までの道のりを理解することや、海外からの訪問者の案内や接遇ができるレベル。【目安：TOEICスコア 700 点】
■履修条件
特になし
■実施計画
自学自習により、英語学習を行い、(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会(以下 IIBC)が実施する TOEIC® L&R IP テスト(オンライン)を2回(令和3年度に1回、令和4年度に1回)受験する。なお、受験料は大学が予算の範囲内で負担する。
■事前・事後学習
自学自習による英語学習を継続すること。
■テキスト
【推奨】『TOEIC テスト公式問題集』、アルクネットアカデミーシステム
■備考(メッセージ)
次年度実施予定の海外拠点短期研修の候補者となる。また、アルクネットアカデミーシステムを利用する場合、総合情報処理センター発行の ID・パスワードが必要となる。
■問い合わせ先
国際連携推進課国際連携推進係 Tel:098-895-8139 e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__語学	研修区分	語学	レベル	2
-------------	--------------	-------------	----	------------	---

研修科目名	英語・中級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	通年	期間(時間)	—	
日程	—	時間帯	—	場所	—	担当部局	国際連携推進課
担当講師	—			形態	自学自習		

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法	
大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を目指す。また、自学自習への動機付けを図りながら、段階的に英語運用能力を強化する。	
■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」	
会議の案内や通達、社内文書などを読んで理解することや、自身の仕事に関わる日常業務のやり方を説明することができるレベル。 【目安：TOEIC スコア 800 点】	
■履修条件	
特になし	
■実施計画	
自学自習により、英語学習を行い、(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会(以下 IIBC)が実施する TOEIC® L&R IP テスト(オンライン)を2回(令和3年度に1回、令和4年度に1回)受験する。なお、受験料は大学が予算の範囲内で負担する。	
■事前・事後学習	
自学自習による英語学習を継続すること。	
■テキスト	
【推奨】『TOEIC テスト公式問題集』、アルクネットアカデミーシステム	
■備考(メッセージ)	
次年度実施予定の海外拠点短期研修の候補者となる。また、アルクネットアカデミーシステムを利用する場合、総合情報処理センター発行の ID・パスワードが必要となる。	
■問い合わせ先	
国際連携推進課国際連携推進係 Tel:098-895-8139 e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp	

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__語学	研修区分	語学	レベル	3
-------------	--------------	-------------	----	------------	---

研修科目名	英語・上級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	通年	期間(時間)	—	
日程	—	時間帯	—	場所	—	担当部局	国際連携推進課
担当講師	—			形態	自学自習		

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法					
大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を目指す。また、自学自習への動機付けを図りながら、段階的に英語運用能力を強化する。					
■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」					
英語のページからの情報収集や、職場でのトラブルに関わる議論ができるレベル。日常会話は完全に理解でき、応答が早くスムーズにやりとりを続けることができる。流暢さには個人差があるが、意思疎通を図る上での支障はないレベル。【目安：TOEIC スコア 900 点】					
■履修条件					
特になし					
■実施計画					
自学自習により、英語学習を行い、(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会(以下 IIBC)が実施する TOEIC® L&R IP テスト(オンライン)を2回(令和3年度に1回、令和4年度に1回)受験する。なお、受験料は大学が予算の範囲内で負担する。					
■事前・事後学習					
自学自習による英語学習を継続すること。					
■テキスト					
【推奨】『TOEIC テスト公式問題集』、アルクネットアカデミーシステム					
■備考(メッセージ)					
次年度実施予定の海外拠点短期研修の候補者となる。また、アルクネットアカデミーシステムを利用する場合、総合情報処理センター発行の ID・パスワードが必要となる。					
■問い合わせ先					
国際連携推進課国際連携推進係 Tel:098-895-8139 e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp					

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__海外派遣	研修区分	海外派遣	レベル	1
-------------	----------------	-------------	------	------------	---

研修科目名	海外拠点短期派遣・初級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	1回/3年 (8月予定)	期間(時間)	5日間(予定)	
日程	5日間(予定)	時間帯	未定	場所	台湾	担当部局	国際連携推進課
担当講師	外部講師		形態	講義及び討議			

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法

大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を前提とし、本研修を通じて、段階的に英語運用能力を強化すると共に、業務で必要とされる企画力等を向上させる。国際交流に必要とされる異文化理解や社交性等を併せて身につけることも目指す。

■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」

英語プログラムを受講することで、英語運用能力を強化すると共に、異文化理解能力等を向上させる。また、東呉大学職員とのグループワークを通じて、企画力・交渉力を磨くと共に、台湾の高等教育事情に係る知見を深める。

■履修条件

英語・初級を受講済みであること。又はそのレベルに達していること。【目安：TOEIC スコア 700 点】

■実施計画

1. 研修先：東呉大学、故宫博物院、台北サテライトオフィス 他

2. 内 容 (予定)

日 付	内 容	備 考
1 日目 (土)	移動 (那覇 ⇒ 台北)	
2 日目 (日)	故宫博物院見学	
3 日目 (月)	(終日) 英語プログラム	於：東呉大学
4 日目 (火)	(午前) 英語プログラム (午後) 東呉大学職員とのワークショップ	於：東呉大学
5 日目 (水)	台北サテライトオフィス訪問 移動 (台北 ⇒ 那覇)	

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、海外渡航が困難な場合は、翌年度に延期、またはオンライン研修を実施する。

■事前・事後学習

事前・事後研修として、BEVI 受験を受験する。BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) とは、異文化理解能力等を客観的に測定する心理分析テストであり、本研修の成果 (海外志向度) を定性的に評価するものである。また、事前学習として、研修当日に実施するワークショップについて、先方の職員とスカイプを活用しながら、協議及び企画する。事後学習として、研修の報告会を開催する。

研修シラバス

■テキスト
特になし
■備考(メッセージ)
パスポートが必要となるので、事前に取得しておくこと。
■問い合わせ先
国際連携推進課国際連携推進係 Tel:098-895-8139 e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__海外派遣	研修区分	海外派遣	レベル	2
-------------	----------------	-------------	------	------------	---

研修科目名	海外拠点短期派遣・中級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	1回/3年 (8月予定)	期間(時間)	5日間(予定)	
日程	5日間(予定)	時間帯	未定	場所	台湾	担当部局	国際連携推進課
担当講師	外部講師		形態	講義及び討議			

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法

大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を前提とし、本研修を通じて、段階的に英語運用能力を強化すると共に、業務で必要とされる企画力等を向上させる。国際交流に必要とされる異文化理解や社交性等を併せて身につけることも目指す。

■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」

英語プログラムを受講することで、英語運用能力を強化すると共に、異文化理解能力等を向上させる。また、東呉大学職員とのグループワークを通じて、企画力・交渉力を磨くと共に、台湾の高等教育事情に係る知見を深める。

■履修条件

英語・中級を受講済みであること。又はそのレベルに達していること。【目安：TOEICスコア800点】

■実施計画

1. 研修先：東呉大学、故宫博物院、台北サテライトオフィス 他

2. 内 容 (予定)

日 付	内 容	備 考
1日目(土)	移動(那覇⇒台北)	
2日目(日)	故宫博物院見学	
3日目(月)	(終日) 英語プログラム	於：東呉大学
4日目(火)	(午前) 英語プログラム (午後) 東呉大学職員とのワークショップ	於：東呉大学
5日目(水)	台北サテライトオフィス訪問 移動(台北⇒那覇)	

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、海外渡航が困難な場合は、翌年度に延期またはオンライン研修を実施する。

■事前・事後学習

事前・事後研修として、BEVI受験を受験する。BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory) とは、異文化理解能力等を客観的に測定する心理分析テストであり、本研修の成果(海外志向度)を定性的に評価するものである。また、事前学習として、研修当日に実施するワークショップについて、先方の職員とスカイプを活用しながら、協議及び企画する。事後学習として、研修の報告会を開催する。

研修シラバス

■テキスト

特になし

■備考(メッセージ)

パスポートが必要となるので、事前に取得しておくこと。

■問い合わせ先

国際連携推進課国際連携推進係

[Tel:098-895-8139](tel:098-895-8139) e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

研修シラバス

系統区分	専門別__国際系__海外派遣	研修区分	海外派遣	レベル	3
-------------	----------------	-------------	------	------------	---

研修科目名	海外拠点短期派遣・上級			必修・選択区分	選択		
受講対象者	当該業務担当者及び希望者		開催時期	1回/3年 (8月予定)	期間(時間)	5日間(未定)	
日程	5日間(未定)	時間帯	未定	場所	台湾	担当部局	国際連携推進課
担当講師	外部講師		形態	講義及び討議			

■研修科目の目的及び研修科目内容と実施方法

大学のグローバル化が進展する昨今、国際的に活躍できる人材が不可欠であることから、まずは、世界の共通言語である英語の習得を前提とし、本研修を通じて、段階的に英語運用能力を強化すると共に、業務で必要とされる企画力等を向上させる。国際交流に必要とされる異文化理解や社交性等を併せて身につけることも目指す。

■達成目標「修得すべき知識・技能・態度」

英語プログラムを受講することで、英語運用能力を強化すると共に、異文化理解能力等を向上させる。また、東呉大学職員とのグループワークを通じて、企画力・交渉力を磨くと共に、台湾の高等教育事情に係る知見を深める。

■履修条件

英語・上級を受講済みであること。又はそのレベルに達していること。【目安：TOEICスコア900点】

■実施計画

1. 研修先：東呉大学、故宫博物院、台北サテライトオフィス 他

2. 内 容 (予定)

日 付	内 容	備 考
1日目(土)	移動(那覇⇒台北)	
2日目(日)	故宫博物院見学	
3日目(月)	(終日) 英語プログラム	於：東呉大学
4日目(火)	(午前) 英語プログラム (午後) 東呉大学職員とのワークショップ	於：東呉大学
5日目(水)	台北サテライトオフィス訪問 移動(台北⇒那覇)	

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、海外渡航が困難な場合は、翌年度に延期またはオンライン研修を実施する。

■事前・事後学習

事前・事後研修として、BEVI受験を受験する。BEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory)とは、異文化理解能力等を客観的に測定する心理分析テストであり、本研修の成果(海外志向度)を定性的に評価するものである。また、事前学習として、研修当日に実施するワークショップについて、先方の職員とスカイプを活用しながら、協議及び企画する。事後学習として、研修の報告会を開催する。

研修シラバス

■テキスト
特になし
■備考(メッセージ)
パスポートが必要となるので、事前に取得しておくこと。
■問い合わせ先
国際連携推進課国際連携推進係 Tel:098-895-8139 e-mail: kosoumu@acs.u-ryukyu.ac.jp